

博士論文（要約）

論文題目 隋唐洛陽城水利研究

氏 名 宇都宮 美生

隋唐洛陽城水利研究

目次

| | |
|-------------------------|----|
| 序章 隋唐洛陽城の都城史研究の動向と諸問題 | 1 |
| 第一節 都城研究と隋唐洛陽城 | 1 |
| 第二節 洛陽地域の都城の変遷と水 | 4 |
| 第三節 中国都市水利史研究の動向と本研究の意義 | 10 |
| 第一部 隋唐洛陽城をとりまく水環境 | |
| 第一章 隋唐洛陽城における河川、運河と水環境 | |
| ―問題の所在― | 43 |
| はじめに | 43 |
| 第一節 穀水 | 44 |
| 一 穀水の主流 | |
| 二 九洲池 | |
| 三 上陽宮 | |
| 四 死穀 | |
| 第二節 漕渠 | 50 |
| 一 城外の漕渠、通済渠および顕仁宮 | |

| | | |
|------|------------------|-----|
| 二 | 城内の漕渠、新潭と洩城渠 | |
| 第三節 | 橋や池等の付属施設 | 59 |
| 一 | 甘泉渠と通仙橋 | |
| 二 | 黄道渠と天津橋 | |
| 三 | 月陂と三陂 | |
| 四 | 凝碧池と龍鱗渠 | |
| おわりに | | 65 |
| 第二章 | 隋唐洛陽城 “洛水貫都” 考 | 85 |
| はじめに | | 85 |
| 第一節 | 天文思想の導入と南方文化への憧憬 | 86 |
| 第二節 | 経済面と防衛面の理由と役割 | 90 |
| 第三節 | 防災の対策と水利体系の統制 | 93 |
| おわりに | | 96 |
| 第三章 | 隋唐洛陽城の穀水 | 113 |
| はじめに | | 113 |
| 第一節 | 隋唐以前の穀水 | 115 |
| 第二節 | 隋唐時代の穀水 | 118 |
| 第三節 | 都城の移動と穀水 | 120 |

| | |
|--------------------|-----|
| おわりに | 124 |
| 第四章 隋唐洛陽城の運河 | |
| ― 通済渠を中心として ― | 135 |
| はじめに | 135 |
| 第一節 通済渠と通遠渠 | 137 |
| 第二節 洛陽城内の運河 | 142 |
| 第三節 洛陽城外の運河 | 145 |
| 第四節 運河の全体像 | 147 |
| 第五節 洛陽城と漕渠 | 149 |
| おわりに | 152 |
| 第二部 隋唐洛陽城の施設と水利 | |
| 第一章 隋唐洛陽城の西苑の四至と水系 | 171 |
| はじめに | 171 |
| 第一節 東面 | 174 |
| 一 凝碧池 | |
| 二 月陂と三陂 | |
| 三 龍鱗渠 | |
| 四 東周王城 | |

| | | |
|------|----------------|-----|
| 五 | 上陽宮 | |
| 第二節 | 南面 | 180 |
| 一 | 顕仁宮 | |
| 二 | 甘泉渠 | |
| 三 | 望春宮 | |
| 四 | 飛山宮 | |
| 第三節 | 西面 | 181 |
| 一 | 合璧宮 | |
| 二 | 八閤および散閤障 | |
| 第四節 | 北面 | 183 |
| 一 | 青城宮 | |
| 二 | 宿羽宮 | |
| 第五節 | その他の建造物 | 185 |
| 一 | 黄女宮 | |
| 二 | 芳樹亭 | |
| おわりに | | 186 |
| 第二章 | 隋唐洛陽城の西苑の役割と水利 | 209 |
| はじめに | | 209 |
| 第一節 | 隋煬帝の西苑 | 211 |

| | | |
|--------------------------|------------|-----|
| 第二節 | 西苑の位置と設置目的 | 214 |
| 第三節 | 西苑の利用の変化 | 218 |
| おわりに | | 220 |
| 第三章 | 隋唐洛陽城の含嘉倉 | |
| —設置と役割に関する一考察— | | 235 |
| はじめに | | 235 |
| 第一節 | 含嘉倉の設置 | 237 |
| 第二節 | 東巡と含嘉倉 | 241 |
| 第三節 | 転般倉としての含嘉倉 | 245 |
| おわりに | | 248 |
| 第四章 | 隋唐洛陽城の穀倉 | |
| —子羅倉、洛口倉、回洛倉および含嘉倉をめぐって— | | 261 |
| はじめに | | 261 |
| 第一節 | 四倉の使用期間 | 263 |
| 第二節 | 四倉の構造と支出用途 | 266 |
| 第三節 | 穀倉の運営と倉庫令 | 270 |
| おわりに | | 277 |

| | |
|---------------------|-----|
| 終章…洛陽城における水環境の変遷と意義 | 293 |
| 付章…隋唐洛陽城研究の動向と問題点 | 311 |
| 付章…隋唐の水利関係の諸機関について | 321 |
| 参考文献 | 353 |

本文

5年以内に出版予定である。

参考文献

【日本語文献】

青木敬『土木技術の古代史』吉川弘文館、二〇一七年

青山定雄「唐宋時代の轉運使及び發運使に就いて」（『史学雑誌』四四・九、一九三三年、同氏『唐宋時代の交通と地誌地圖の研究』吉川弘文館、一九六三年に収載）

秋山進午「漢代の倉庫について」（『東方学報京都』四六、一九七四年）

池田静夫『支那水利地理史研究』生活社、一九四〇年

石井知章「K・ウィットフォーゲルと中国問題についての試論」（『明治大学教養論集』四三〇、二〇〇八年、同氏『K・A・ウィットフォーゲルの東洋的社会論』社会評論社、二〇〇八年に収載）

伊藤敏雄「長沙走馬楼簡牘中の邸閣・州中倉・三州倉について」（『九州大学東洋史論集』三一、二〇〇三年）

稲住哲朗「北齐出身者と閹隴集團」（『九州大学東洋史論集』四一、二〇一三年）

伊原弘『中国中世都市紀行…宋代の都市と都市生活』中央公論社、一九八八年

入矢義高「『洛陽伽藍記』解説」（楊銜之著、入矢義高・森鹿三・日比野丈夫訳『洛陽伽藍記・水経注（抄）』中国古典文学大系第二一卷、平凡社、一九七四年）

ウィットフォーゲル、カール・A著、井上照丸訳『東洋的専制…全体主義権力の比較研究』アジア経済研究所、一九六一年

宇都宮美生「隋唐洛口倉址の現地調査報告」（『明大アジア史論集』一一、二〇〇七年）

宇都宮美生「隋唐洛陽城における河川、運河と水環境」（『中国水利史研究』三七、二〇〇八年）

宇都宮美生「隋唐洛陽城西苑の四至と水系」（『中国文史論叢』六、二〇一〇年）

宇都宮美生「隋唐洛陽城の含嘉倉の設置と役割に関する一考察」（『東洋学報』九八・一、二〇一六年）

宇都宮美生「隋唐洛陽城“洛水貫都”考」（『法政史学』八八、二〇一七年）

宇都宮美生「隋唐洛陽城の穀倉—子羅倉、洛口倉、回洛倉及び含嘉倉をめぐる—」（『史学雑誌』一二七・三、二〇一八年）

梅原郁「唐宋時代の法典編纂—律令格式と勅令格式」（同氏『宋代司法制度研究』創文社、二〇〇六年）

大室幹雄『劇場都市—古代中国の世界像—』三省堂、一九八一年

大類伸『城郭之研究』日本学術普及会、一九一五年

岡崎敬「隋・大興Ⅱ唐・長安城と隋唐・東都洛陽城—近年の調査成果を中心として—」（『佛教藝術』五一、一九六三年）

小笠原好彦「聖武天皇による恭仁京造営と隋唐洛陽城」（石川日出志・日向一雅・吉村武彦編『交響する古代—東アジアの中の日本—』

東京堂出版、二〇一一年）

岡野誠「敦煌発見唐水部式の書式について」（『東洋史研究』四六・二、一九八七年）

岡野誠「北宋天聖雜令中の水利法規について」（『法史学研究会会報』一一、二〇〇七年）

小澤毅『日本古代宮都構造の研究』青木書店、二〇〇三年

愛宕元「唐代両京郷里村考」（『東洋史研究』四〇・三、一九八一年）

愛宕元『中国の城郭都市—殷周から明清まで』中央公論社、一九九一年

小野泰「宋代浙東の都市水利—台州城の修築と治水対策—」（『中国水利史研究』二〇、一九九〇年）

加藤繁「漢代に於ける國家財政と帝室財政との区別並に帝室財政一斑」（『東洋学報』八・一、一九一八年および九・一・二、一九一

九年、同氏『支那經濟史考証』上巻、東洋文庫、一九五二年に収載）

加藤繁「宋代の都市發達に就いて」（桑原博士還暦記念祝賀会編纂『桑原博士還暦記念東洋史論叢』弘文堂書房、一九三一年）

加藤繁「北京の都市特にその城郭について」（大阪毎日新聞社編『大黄河』大阪毎日新聞社、一九三八年、同氏『志那学雜草』生活社、

一九四四年に収載）

加藤繁「城郭の話」（『改造』一九・一三、一九三七年、同氏『志那学雜草』生活社、一九四四年に収載）

金子修一『中国古代皇帝祭祀の研究』岩波書店、二〇〇六年

金子修一『古代中国と皇帝祭祀』汲古書院、二〇〇一年

神田信夫・山根幸夫編『中国史籍解題辞典』燎原書店、一九八九年

岸俊男『日本の宮都と中国の都城』（上田正昭編『都城』社会思想社、一九七六年）

北田裕行『三国から初唐の苑池の系譜に関する基礎的考察』（『古代文化』六〇、二〇〇八年）

北田裕行『隋唐長安城太極宮後園とその系譜―北斉と隋の四海―』（『古代学』一、二〇〇九年）

北田裕行『中国古代都城の園林配置に関する基礎的考察―都城外苑を中心として―』（館野和己『古代都城のかたち』同成社、二〇〇九年）

木田知生『中国歴史地理研究浅析―近三十年の中国古都研究を中心に―』（『龍谷大学論集』四七七、二〇一一年）

清木場東『唐律令制時代の財政支出―穀類の中央支出―』（『産業経済研究』二七・二、一九八六年、同氏『帝賜の構造』唐代財政史研究支出篇、中国書店、一九九七年に収載）

清木場東『首都長安の食糧調達における陸運―唐の洛陝陸運制（一）』（唐代史研究会編『中国都市の歴史的研究』刀水書房、一九八八年、同氏『唐代財政史研究（運輸編）』九州大学出版会、一九九六年に収載）

清木場東『唐含嘉倉の構造―門・街・渠・区―』（『産業経済研究』三〇・三、一九八九年、同氏『唐代財政史研究（運輸編）』九州大学出版会、一九九六年および『帝賜の構造』唐代財政史研究支出篇、中国書店、一九九七年に収載）

清木場東『唐含嘉倉の分類』（『産業経済研究』三〇・三、一九八九年、同氏『唐代財政史研究（運輸編）』九州大学出版会、一九九六年および『帝賜の構造』唐代財政史研究支出篇、中国書店、一九九七年に収載）

清木場東『唐倉廩の機能』（『産業経済研究』三〇・三、一九八九年、同氏『唐代財政史研究（運輸編）』九州大学出版会、一九九六年および『帝賜の構造』唐代財政史研究支出篇、中国書店、一九九七年に収載）

清木場東『倉廩銘からみた唐太倉の構造』（唐代史研究会編『東アジア古文書の史的研究』唐代史研究会報告第七集、刀水書房、一九

九〇年、同氏『唐代財政史研究（運輸編）』九州大学出版会、一九九六年および『帝賜の構造』唐代財政史研究支出篇、中国書店、一九九七年に収載）

清木場東「隋唐都の皇城―城・門・街―」（久留米大学商学部編『創立四十周年記念論文集』久留米大学商学部、一九九〇年）

清木場東『唐代財政史研究（運輸編）』九州大学出版会、一九九六年

清木場東『帝賜の構造』唐代財政史研究支出篇、中国書店、一九九七年

氣賀澤保規編『洛陽学国際シンポジウム報告論文集…東アジアにおける洛陽の位置』汲古書院、二〇一一年

建築工部部建築科学研究院建築理論および歴史研究室・中国建築史編集委員会編、田中淡訳編『中国建築の歴史』平凡社、一九八一年

五井直弘「中国古代階級闘争史試論―春秋・戦国期の城郭造営をめぐって―」（階級闘争史研究会編『階級闘争の歴史と理論』第二巻

前近代社会における階級闘争、青木書店、一九八一年）

五井直弘「中国古代城郭史序説」（西嶋定生博士還暦記念論叢編集委員会編『東アジア史における国家と農民…西嶋定生博士還暦記念』

山川出版社、一九八四年（同氏『中国古代の城郭都市と地域支配』名著刊行会、二〇〇二年に収載）

五井直弘「比較都市論」（荒野泰典・石井正敏・村井章介編『アジアのなかの日本史』一アジアと日本、東京大学出版会、一九九二年、

同氏『中国古代の城郭都市と地域支配』名著刊行会、二〇〇二年に収載）

五井直弘「中国古代の漕運―漢魏洛陽城の陽渠―」（文部省科学研究費海外学術調査報告書II『日本と中国における都市の比較史研究』

一九九一年、同氏『中国古代の城郭都市と地域支配』名著刊行会、二〇〇二年に収載）

五井直弘『中国古代の城郭都市と地域支配』名著刊行会、二〇〇二年

侯外廬著、太田幸男・岡田功・飯尾秀幸訳『中国古代社会史論』名著刊行会、一九九七年

黄学超著、吉田愛訳「『水経注』に基づく漢唐間の昆明池水利システムの復原」（『学習院大学国際センター研究年報』五、二〇一九年）

興膳宏・川合康三『隋書経籍志詳攷』汲古書院、一九九五年

駒井和愛「中国の都城」（同氏『日本古代と大陸文化』野村書店、一九四八年、同氏『中国都城・渤海研究』雄山閣、一九七七年に収載）

佐川英治「遊牧と農耕の間―北魏平城の鹿苑の機能とその変遷―」（『岡山大学文学部紀要』四七、二〇〇七年および同氏『中国古代都城の設計と思想―円丘祭祀の歴史的展開―』勉誠出版、二〇一六年に収載）

佐川英治『中国古代都城の設計と思想―円丘祭祀の歴史的展開―』勉誠出版、二〇一六年

佐久間吉也「晋代の水旱災について」（『福島大学学芸学部論集』一六・一、一九六四年、同氏『魏晉南北朝水利史研究』開明書院、一九八〇年に収載）

佐久間吉也「孫呉朝の水旱災と灌漑について」（『福大史学』二四・二五合併号、一九七九年、同氏『魏晉南北朝水利史研究』開明書院、一九八〇年に収載）

佐藤武敏「『管子』に見える治水説」（『中国古代史研究』三、一九六九年）

佐藤武敏「唐宋時代都市における飲料水の問題―杭州を中心に―」（『中国水利史研究』七、一九七五年）

佐藤武敏「唐代の洛陽と洛水」（『中国史研究』七、一九八二年）

眞田秀吉『日本水制工論』岩波書店、一九三二年

佐原康夫「中国における都城の理念と東アジア」（舘野和己編『古代都城のかたち』同成社、二〇〇九年）

塩沢裕仁「洛陽八関とその内包空間―漢魏洛陽盆地の空間的理解に触れて―」（『法政考古学』三〇、二〇〇三年、同氏『後漢魏晉南

北朝都城境域研究』雄山閣、二〇一三年収載）

塩沢裕仁「漢魏洛陽城穀水文考」（『東洋史研究』七一・二、二〇一二年）

塩沢裕仁『後漢魏晉南北朝都城境域研究』雄山閣、二〇一三年

斯波義信『宋代商業史研究』風間書房、初版、一九六八年、第二版、一九七九年、第三版、一九八九年

斯波義信『宋代江南経済史の研究』汲古書院、一九八八年

朱岩石「鄴城における皇家園林の機能と意義」（『國學院大學大學院紀要…文学研究科』二九、一九九八年）

朱士光・葉驍軍著、積山洋訳「中国史上の陪都制」（『大阪歴史博物館研究紀要』一、二〇〇二年）

徐松撰、愛宕元訳註『唐兩京城坊攷…長安と洛陽』平凡社、一九九四年

鈴木俊『均田、租庸調制度の研究』刀水書房、一九八〇年

齊東方著、村元健一訳「中国都城の立地環境―長安から洛陽へ―」（奈良女子大学古代学学術研究センター編『東アジア古代都城の立地環境』都城制研究、九、奈良女子大学古代学学術研究センター、二〇一五年）

妹尾達彦「都市の生活と文化」（魏晋南北朝隋唐時代史の基本問題編集委員会編『魏晋南北朝隋唐時代史の基本問題』汲古書院、一九九七年）

妹尾達彦「隋唐洛陽城の官人居住地」（『東洋文化研究所紀要』一三三、一九九七年）

妹尾達彦『長安の都市計画』講談社選書メチエ二二三、講談社、二〇〇一年

妹尾達彦「長安・洛陽の内部構造」（秋山元秀他編『アジアの歴史地理』二 都市と農村景觀、朝倉書店、二〇〇八年）

妹尾達彦「唐代の長安と洛陽―陸の都と水の都―」（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館編著『宮都飛鳥』学生社、二〇一一年）

妹尾達彦「隋唐長安城の皇室庭園」（橋本義則編著『東アジア都城の比較研究』京都大学学術出版会、二〇一一年）

妹尾達彦「江南文化の系譜―建康と洛陽（一）（二）―」（『六朝学術学会報』一四、二〇一三年および一五、二〇一四年）

妹尾達彦「中国三都の立地環境…建康・長安・洛陽の自然と社会」（奈良女子大学古代学学術研究センター編『東アジア古代都城の立地環境』都城制研究、九、奈良女子大学古代学学術研究センター、二〇一五年）

妹尾達彦「中原水都…隋唐洛陽城的社会構造与宗教空間」（孫英剛主編、《佛教史研究》編輯委員会編『佛教史研究』第二卷、新文豐出版、二〇一八年）

関野貞他『樂浪郡時代の遺跡』古跡調査特別報告第四冊、初版、朝鮮総督府、一九二七年、再版、出版科学総合研究所、一九八二年
曾我部静雄『開封と杭州』富山房、一九四〇年

外村中「中国古代の都市と園林についての初歩的考察」（『佛教藝術』二七二、二〇〇四年）

外村中「古代東アジアの「池と島の園林」と「池と築山の園林」」（『佛教藝術』二八六、二〇〇六年）

高橋継男「劉晏の巡院設置について」（『集刊東洋学』二八、一九七二年）

高橋継男「唐後半期における巡院と漕運」（『東洋大学文学部紀要』三六、一九八二年）

瀧川政次郎『律令の研究』刀江書院、初版、一九三一年、復刻版、一九六六年

瀧川政次郎『京制並に都城制の研究』角川書店、一九六七年

武井紀子「日唐律令制における倉・蔵・庫―律令国家における収納施設の位置づけ」（大津透編『日唐律令比較研究の新段階』山川出版社、二〇〇八年）

武井紀子「日本古代倉庫制度の構造とその特質」（『史学雑誌』一一八・一〇、二〇〇九年）

多田伊織「ニワと王権―古代中国の詩文と苑」（金子裕之編『古代庭園の思想―神仙世界への憧憬』角川書店、二〇〇二年）

田中淡「隋朝建築家の設計と考証」（同氏『中国建築史の研究』弘文堂、一九八九年）

田中淡『中国建築史の研究』弘文堂、一九八九年

谷口建速「長沙走馬楼呉簡における穀倉関係簿初探」（『民衆史研究』七二、二〇〇六年）

田丸祥幹「唐代の水駅規定について―天聖厰牧令・宋令第二一条の検討―」（『法史学研究会会報』一七、二〇一二年）

張学鋒著、小尾孝夫訳「六朝建康城の研究―発掘と復原―」（『山形大学歴史・地理・人類学論集』一三、二〇一二年）

辻正博「魏晋南北朝時代の聴訟と録囚」（『法制史研究』五五、二〇〇五年）

鄭肇経著、東亜研究所訳『中国水利史（翻訳）』東亜研究所、一九四〇年

東亜考古学会編『牧羊城・南満州老鐵山麓漢及漢以前遺跡』初版、東亜考古学会、一九三一年、復刻限定版、『牧羊城・南満洲老鉄山麓

漢及漢以前遺跡』雄山閣、一九八一年

東亜考古学会編『上都・古ドロンノールに於ける元代都址の調査』東亜考古学会、一九四一年

東京帝国大学文学部編『樂浪 = Lo-lang』刀江書院、一九三〇年

利光三津夫「倉庫令逸文考」(同氏『律令制とその周辺』慶應義塾大学法学研究会叢書一七、慶應義塾大学法学研究会、一九六七年)

礪波護「隋の貌閱と唐初の食實封」(『東方学報』三七、一九六六年)

礪波護「中国の都城」(上田正昭編『都城』社会思想社、一九七六年)

礪波護「隋唐時代の太倉と含嘉倉」(『東方学報』五二、一九八〇年、同氏『隋唐都城財政史論考』法蔵館、二〇一六年に収載)

礪波護「中国都城の思想」(岸俊男編『都城の生態』日本の古代第九卷、中央公論社、一九八七年)

礪波護『隋唐都城財政史論考』法蔵館、二〇一六年

富谷至「漢代穀倉制度―エチナ川流域の食糧支給より―」(『東方学報』六八、一九九六年)

富谷至「漢律から唐律へ―裁判規範と行為規範―」(『東方学報』八八、二〇一三年、同氏『漢唐法制史研究』創文社、二〇一六年に

収載)

外山軍治「唐代の漕運」(『史林』二二・二、一九三七年)

中江丑吉『支那古代政治思想史』第一卷、一九二五年

中江丑吉『中国古代政治思想』岩波書店、一九五〇年

中島千秋『文選 賦篇上』新釈漢文大系七九、明治書院、一九七七年

中村圭爾「建康の「都城」について」(唐代史研究会編『中国都市の歴史的研究』刀水書房、一九八八年)

中村圭爾「建康と水運」(中国水利史研究会編『佐藤博士退官記念中国水利史論叢』国書刊行会、一九八四年、同氏『六朝江南地域史

研究』汲古書院、二〇〇六年に収載)

中村裕一『大業雜記の研究』汲古書院、二〇〇五年

那波利貞「支那都邑の城郭と其の起源」(『史林』一〇・二、一九二五年)

那波利貞「支那首都計画史上より考察したる唐の長安城」(桑原博士還暦記念祝賀會編纂『桑原博士還暦記念東洋史論叢』弘文堂、一

九三一年)

那波利貞「支那已往の都市と上下両水の問題一・二・三」(『歴史と地理』二七・一・二・三、一九三一年)

仁井田陞『唐令拾遺』初版、東方文化学院東京研究所、一九三三年、復刻版、東京大学出版会、一九六四年

仁井田陞著、池田温編集代表『唐令拾遺補―附唐日両令対照一覧』東京大学出版会、一九九七年

西岡弘晃「南宋杭州の都市水利」(『中国水利史研究』二二、一九九二年、同氏『中国近世の都市と水利』中国書店、二〇〇四年に収載)

西岡弘晃「宋代蘇州の農業水利と運河水利」(『中国水利史研究会創立三十周年記念中国水利史の研究』国書刊行会、一九九五年、同氏『中国近世の都市と水利』中国書店、二〇〇四年に収載)

西岡弘晃「宋代揚州的城市水利」(『城市发展研究』三・一、一九九六年、同氏『中国近世の都市と水利』中国書店、二〇〇四年に収載)

西岡弘晃「唐宋期における浙東鄞県の都市化と它山堰」(『中村学園研究紀要』三〇、一九九八年、同氏『中国近世の都市と水利』中国書店、二〇〇四年に収載)

西岡弘晃「四川成都の都市形成と水利問題」(『東洋経済史学会記念論集中国の歴史と経済』中国書店、二〇〇〇年)

西岡弘晃「宋代都市水利史研究序説」(『中国水利史研究』二八、二〇〇〇年、同氏『中国近世の都市と水利』中国書店、二〇〇四年に収載)

西岡弘晃「中国都市水利史研究の現状と課題」(同氏『中国近世の都市と水利』中国書店、二〇〇四年)

西岡弘晃『中国近世の都市と水利』中国書店、二〇〇四年

馬彪「古代中国帝王の巡幸と禁苑」(『アジアの歴史と文化』一五、二〇一一年)

馬彪「秦上林苑における構造とその性格についての研究―秦簡禁苑律による新視点からの探索―」(『山口大学文学会志』六五、二〇一五年)

朴漢濟「北魏洛陽社会と胡漢体制―都城區画と住民分布を中心に―」（『お茶の水史学』三五、一九九二年）

橋本敬造「漢代の機械」（『東方學報京都』四六、一九七四年）

橋本義則編著『東アジア都城の比較研究』京都大學學術出版會、二〇一一年

濱口重國「唐の玄宗朝に於ける江淮上供米と地稅との關係」（『史學雜誌』四五・一・二、一九三四年、同氏『秦漢隋唐史の研究』下

卷、東京大學出版會、一九六六年に収載）

早川尚志「洛陽城との比較に見る恭仁京」（『地域と環境』一三、二〇一四年）

林美希「唐・長安城の禁苑と北衙」（『唐代史研究』二〇、二〇一七年）

日野開三郎『唐代租調庸の研究』二課輪篇上、汲古書院、一九七五年

日野開三郎「米」（『西日本史學』九、一九五二年、同氏『日野開三郎東洋史學論集』第一三卷農村と都市、三一書房、一九九三年に収載）

平岡武夫『唐代の長安と洛陽・地圖篇』唐代研究のしおり第七、京都大學人文科學研究所、一九五六年

福本勝清「マルクス主義と水の理論」（『明治大學教養論集』四六二、二〇一一年）

藤善真澄「北齊系官僚の一動向」（同氏『道宣伝の研究』京都大學學術出版會、二〇〇二年）

藤田勝久「戦国・秦代の都市水利」（『中国水利史研究』二〇、一九九〇年）

藤田勝久「漢唐長安の都市水利」（『中国水利史研究』二二、一九九二年）

藤田元春「管子の水地論」（『山梨大學學芸部研究報告』二、一九五二年）

船越泰次『唐代兩税法研究』汲古書院、一九九六年

方莉・程沛岩・方孝廉著、宇都宮美生訳「唐東都洛陽城“新潭”踏査記」（『中国水利史研究』三九、二〇一〇年）

星斌夫『大運河・中国の漕運』近藤出版社、一九七一年

町田三郎「管子水地篇について」（『集刊東洋學』三五、一九七六年）

松下憲一「北魏の洛陽遷都」(『史朋』三二、一九九九年)

松田吉郎「明代南京の水利について」(明代史研究会・明代史論叢編集委員会編『山根幸夫教授退休記念明代史論叢』下巻、汲古書院、一九九〇年)

松田吉郎「中国都市の水利史研究」(『中国水利史研究』二二、一九九二年)

松田吉郎「中国都市水利史研究の現状」(『兵庫教育大学学校教育学研究』八、一九九六年)

松本保宣「東都洛陽宮明福門付近について」(『立命館文學』五一九、一九九〇年)

丸橋充拓『唐代北辺財政の研究』岩波書店、二〇〇六年

溝井裕一『動物園の文化史…ひとと動物の五〇〇〇年』勉強出版、二〇一四年

宮崎市定「中国城郭の起源異説」(『歴史と地理』三二・三、一九三三年、同氏『アジア史研究』巻一、京都大学文学部内東洋史研究会出版、一九五七年および宮崎市定『宮崎市定全集』巻三、古代、岩波書店、一九九一年に収載)

宮園和禧「唐代前半期における倉の管理・運営―主として洛陽含嘉倉について―」(『九州共立大学紀要』八・二・九、一合併号、一九七四年)

村上嘉実「六朝の庭園」(『古代学』四・一、一九五五年)

村上嘉実「唐都長安の王室庭園」(『関西学院史学』三、一九五五年)

村上嘉実「隋代の庭園」(『滋賀県立短期大学学術雑誌』二、一九六一年)

村田治郎『中国の帝都』綜芸舎、一九八一年

村田治郎『中国建築史叢考』中央公論美術出版、一九八八年

村元健一「隋の大興、洛陽の二つの宮城」(『郵政考古紀要』六二、二〇一五年、同氏『漢魏晋南北朝時代の都城と陵墓の研究』汲古書院、二〇一六年に収載)

村元健一「中国複都制における洛陽」(同氏『漢魏晋南北朝時代の都城と陵墓の研究』汲古書院、二〇一六年)

森田明「明清時代の西湖水利について」（『中国水利史研究』五、一九七一年）

森田明「清代淮安の都市水利について」（『中国水利史研究』九、一九七九年）

山崎宏「隋朝官僚の性格」（『東京教育大学文学部紀要…史学研究』六、一九五六年）

山崎宏「隋朝の文教政策」（同氏『隋唐佛教史の研究』法蔵館、一九六七年）

楊寛著、西嶋定生監訳、尾形勇・高木智見訳『中国都城の起源と発展』学生社、一九八七年

吉田虎雄『唐代租税の研究』汲古書院、一九七三年

ライト、アーサー・F著、布目潮風・中川努訳『隋代史』法律文化社、一九八二年

洛陽市文物考古研究院著、宇都宮美生訳「洛陽漢唐漕運水系考古調査」（『中国水利史研究』四六、二〇一八年）

渡辺信一郎「宮闕と園林」（同氏『中国古代の王権と天下秩序―日中比較史の視点から』校倉書房、二〇〇三年）

渡辺信一郎『中国古代の財政と国家』汲古書院、二〇一〇年

渡辺信一郎「天聖令倉庫令訳注初稿」（『唐宋変革研究通訊』第一輯、二〇一〇年）

【中国語文献】

安徽省文物考古研究所・安徽省淮北市博物館編『淮北柳孜運河遺址発掘報告…一九九九年度全国考古十大新發現之一』科学出版社、二〇〇二年

〇〇二年

蔡蕃『北京古運河与城市供水研究』北京出版社、一九八七年

滄清「含嘉倉銘磚初探」（『考古』一九八二年第三期）

滄清「略談隋唐時期的官倉制度」（『考古』一九八四年第四期）

曹爾琴「洛陽、從漢魏至隋唐的變遷」（『唐都學刊』一九八六年第一期）

曾謙「隋唐洛陽運河体系与漕糧運輸」（『農業考古』二〇一三年第一期）

- 陳愛平「從風水的視觀看中國古都分布」（『青海師範大學學報·哲學社會科學版』二〇〇三年第六期）
- 陳長安「唐東都上陽宮內出土石蟾蜍」（『中原文物』一九八六年第二期）
- 陳朝雲「唐代河南的倉儲體系與糧食運輸」（『鄭州大學學報·哲學社會科學版』二〇〇一年第六期）
- 陳君「《兩都賦》的創作與東漢前期的政治趨向」（『文學評論』二〇一〇年第二期）
- 陳橋驛主編『中國六大古都』中國青年出版社、一九八三年
- 陳橋驛主編『中國七大古都』中國青年出版社、一九九一年
- 陳寅恪『隋唐制度淵源略論稿』初版、商務印書館、一九四六年、重版、中華書局香港分局、一九七四年
- 陳有忠「隋唐時期的洛陽商業」（『鄭州大學學報·哲學社會科學版』一九八三年第二期および『中州學刊』一九八三年第五期）
- 程存潔「唐代東都洛陽城市研究概況」（『中國史研究動態』一九九三年第一〇期）
- 程遂營『唐宋開封生態環境研究』中國社會科學出版社、二〇〇二年
- 程義「隋唐洛陽城不是半成品——兼論東西二京佈局差異」（『唐研究』一二、北京大學出版社、二〇〇六年）
- 戴興華·戴秀秀『隋唐運河汴河段漕運探考』黃山書社、二〇一五年
- 董鑑泓主編『中國古代城市建設』中國建築工業出版社、一九八八年
- 杜鵬飛·錢易「中國古代的城市給水」（『中國科技史料』一九九八年第一期）
- 段鵬琦「洛陽古代都城城址遷移現象試析」（『考古與文物』一九九九年第四期）
- 段鵬琦「隋唐洛陽含嘉倉出土銘文磚的考古學研究」（『考古』一九九七年第一期）
- 段鵬琦「漢魏洛陽與自然河流的開發和利用」（《慶祝蘇秉琦考古五十五年論文集》編輯組編『慶祝蘇秉琦考古五十五年論文集』文物出版社、一九八九年）
- 方莉·程沛岩·方孝廉「唐東都洛陽城“新潭”踏查記」（『河洛春秋』二〇〇六年第三期）
- 方孝廉「洛陽附近的古代糧倉」（『中原文物』一九八四年第一期）

- 方孝廉「隋開通濟渠與洛河改道」（『考古』一九九九年第一期）
- 方孝廉「洛陽東周王城城址相關問題研究」（『河洛春秋』二〇〇四年第一期）
- 方孝廉・方媛媛「隋通濟渠與東京洛陽城布局的研究——隋開通濟渠與洛河改道之二」（洛陽歷史文物考古研究所編『河洛文化論叢』第三輯、中州古籍出版社、二〇〇六年）
- 方孝廉・李永強「洛陽新區建設中的考古發現與探索」（『河洛春秋』二〇〇五年第三期）
- 方孝廉・李永強「洛陽城市建設中的考古發現與探索」（『三門峽職業技術學院學報』二〇〇九年第一期）
- 方孝廉・謝虎君「洛陽含嘉倉的發現與研究」（洛陽博物館編『洛陽博物館建館五〇周年論文集』大象出版社、二〇〇八年）
- 傅熹年主編『中國古代建築史』第二卷、三國、兩晉、南北朝、隋唐、五代建築、中國建築工業出版社、二〇〇一年
- 高敏「關於隋煬帝遷都洛陽的原因」（『魏晉南北朝史論集』二、一九八三年）
- 鞏鼎文物管理委員會編『鞏鼎文物簡介』鞏鼎文物管理委員會、一九七九年
- 顧萬發「洛口倉地理位置考」（『古代文明研究通訊』四八、二〇一一年、同氏主編、鄭州市文物考古研究院編著『鄭州文物考古與研究』三、下冊、科學出版社、二〇一六年に収載）
- 郭声波「隋唐長安的水利」（史念海主編『唐史論叢』第四輯、三秦出版社、一九八八年）
- 郭濤「成都環境水利的變遷」（『大自然探索』一九八三年第四期）
- 郭濤『四川城市水災史』巴蜀書社、一九八九年
- 郭濤「中國城市水利史的研究現狀及趨勢」（『中國水利史研究』二二、一九九二年）
- 郭引強『絲綢之路洛陽考』中州古籍出版社、二〇〇九年
- 韓國磐『隋煬帝』湖北人民出版社、一九五七年
- 韓建華「唐宋洛陽宮城御苑九洲池初探」（『考古學研究』二〇一八年第四期）
- 韓忠厚「洛陽建都朝代考略」（『河洛春秋』一九九五年第一期）

- 河南省博物館・洛陽市博物館「洛陽隋唐含嘉倉的發掘」（『文物』一九七二年第三期）
- 河北省文物研究所編『燕下都』文物出版社，一九九六年
- 河南省文物局編『河南文物』上冊、文心出版社，二〇〇八年
- 河南省宜陽縣地方志編纂委員會編『宜陽縣志』生活・讀書・新知三聯書店，一九九六年
- 何清谷撰『三輔黃圖校釋』中華書局，二〇〇五年
- 何汝泉「唐代轉運使的設置與裴耀卿」（『西南師範大學學報·哲學社會科學版』一九八六年第一期）
- 賀業鉅『考古記宮國制度研究』中國建築工業出版社，一九八五年
- 賀業鉅『中國古代城市規畫史論叢』中國建築工業出版社，一九八六年
- 賀業鉅『中國古代城市規畫史』中國建築工業出版社，一九九六年
- 賀雲翱『六朝瓦當與六朝都城』文物出版社，二〇〇五年
- 侯明忠・韓隆福「論隋朝宮建東都洛陽的原因及意義」（『湖南文理學院學報·社會科學版』二〇〇八年第五期）
- 侯仁之『歷史地理學的理論與實踐』上海人民出版社，初版，一九七九年，第二版，一九八四年
- 侯仁之『步芳集』北京出版社，初版，一九六二年，第二版，一九八一年
- 侯外廬『中國古代社會史論』上海新知書店，一九四七年
- 侯外廬『中國古代社會史』生活・讀書・新知聯合發行所，一九四九年
- 侯甬堅「洛陽學建立的基本依拠」（『中州學刊』二〇一八年第六期）
- 黃明蘭他主編、洛陽市第二文物工作隊編『河洛文明論文集』中州古籍出版社，一九九三年
- 黃盛璋「西安城市發展中的給水問題以及今後水源的利用與開發」（『地理學報』一九五八年第四期）
- 黃展岳「一九五五年春洛陽漢河南縣城東區發掘報告」（『考古學報』一九五六年第四期）
- 黃正建主編『《天聖令》與唐宋制度研究』中國社會科學出版社，二〇一一年

- 賈璞「漢魏洛陽城陽渠遺址与古代都城的生態水利建設」（『中州學刊』二〇一七年第七期）
- 劍聲「淮北隋唐大運河考古發現及其意義和價值」（『淮北煤師院學報·哲學社会科学版』二〇〇〇年第三期）
- 建築工程部建築科學研究院建築理論及歷史研究室中國建築史編輯委員會編『中國建築簡史』中國工業出版社、一九六二年
- 姜波「唐東都上陽宮考」（『考古』一九九八年第二期）
- 蔣超「陳宏謀在天津的治水活動」（『中國水利』一九八五年第一二期）
- 姜晉京他編『洛陽村名傳說』中州古籍出版社、一九九三年
- 焦海浩「試論古代城市与河流的關係——以古都洛陽為例」（『洛陽理工學院學報·社会科学版』二〇一四年第一期）
- 焦金坤「興洛倉」（『中州今古』一九八四年第四期）
- 靳懷遠「中国古代城市与水——以古都為例」（『河海大學學報·哲学社会科学版』二〇〇五年第四期）
- 京洛「洛陽隋唐含嘉倉糧食的加固處理」（『文物』一九七二年第三期）
- 考古研究所洛陽發掘隊「洛陽澗浜東周城址發掘報告」（『考古學報』一九五九年第二期）
- 孔祥勇·駱子昕「北魏洛陽的城市水利」（『中原文物』一九八八年第四期）
- 來學齋·薛瑞沢「絲綢之路東端起點洛陽論研究綜述」（『中國史研究動態』一九九三年第三期）
- 樂嘉藻撰『中國建築史』華世出版社、一九七七年
- 李德方·朱亮·葉萬松「九十年代前期洛陽的考古發現与研究」（河南文物考古學會編『河南文物考古論集』二、中州古籍出版社、二〇〇〇年）
- 李恩軍「我国古代城市的排水排污設施的發展」（『環境教育』一九九八年第一期）
- 黎虎「北魏前期的狩獵經濟」（『歷史研究』一九九二年第一期）
- 李健超「隋唐長安城清明渠」（『中國歷史地理論叢』二〇〇四年第二期）
- 李潔萍編『中国古代都城概況』黑龍江人民出版社、一九八一年

李潔萍編著『中國歷代都城』黑龍江人民出版社、一九九四年

李錦繡「唐倉庫令復原研究」（天一閣博物館·中國社會科學院歷史研究所天聖令整理課題組校証『天一閣藏明鈔本天聖令校證』下冊、中華書局、二〇〇六年）

李久昌「二〇世紀五〇年代以來的洛陽古都研究」（『河南大學學報·社會科學版』二〇〇七年第四期）

李久昌『國家、空間與社會——古代洛陽都城空間演變研究』三秦出版社、二〇〇七年

李令福「論西漢長安城都市水利」（『中國古都研究·中國古都學會二〇〇二年年會暨長江上游城市文明起源學術研討會論文集』第一九輯、二〇〇二年）

李令福『古都西安城市布局及其地理基礎』人民出版社、二〇〇九年李永強「隋唐東都洛陽城非對稱布局淺析」（『河洛春秋』一九九六年第一期）

李乾太「北魏故都平城城市水利試探」（『晉陽學刊』一九九〇年第四期）

李永強「隋唐東都洛陽宮皇城考」（『三門峽職業技術學院學報』二〇一一年第一期）

李永強「隋唐大運河洛陽段相關問題試析」（『四川文物』二〇一一年第四期）

李永強『隋唐大運河的中心——洛陽』中州古籍出版社、二〇一一年

梁思成『中國建築史』明文書局、一九八一年

劉德岑編『中國歷史地理叢書·古都篇』西南師範大學出版社、一九八六年

劉敦楨主編『中國古代建築史』中國建築工業出版社、初版、一九八〇年、第二版、一九八四年

劉富良「洛陽西周陶器墓研究」（『考古與文物』一九九八年第三期）

劉慶柱主編『中國古代都城考古發現與研究』上冊·下冊、社會科學文獻出版社、二〇一六年

劉曙光「漢魏洛陽研究四札」（『中原文物』一九九六年特刊號）

劉叙傑主編『中國古代建築史』第一卷、原始社會、夏、商、周、秦、漢建築、中國建築工業出版社、二〇〇三年

劉希為『隋唐交通』新文豐出版、一九九二年

盧海鳴『六朝都城』南京出版社、二〇〇二年

洛陽博物館「隋唐洛陽含嘉倉城德猷門遺址的發掘」（『中原文物』一九八一年第二期）

洛陽博物館「洛陽隋唐東都皇城內的倉窖遺址」（『考古』一九八一年第四期）

洛陽博物館「洛陽西高崖遺址試掘簡報」（『文物』一九八一年第七期）

洛陽市地方志編纂委員會編『洛陽市大事記』洛陽市地方志編纂委員會、一九九一年

洛陽市地方志編纂委員會編『洛陽市志』第一四卷、文物志、中州古籍出版社、一九九五年

洛陽市地方志編纂委員會辦公室編『洛陽·絲綢之路的起點』中州古籍出版社、一九九二年

洛陽市歷史學會·洛陽市海外聯誼會編輯『河洛文化論叢』河南大學出版社他、一九九〇年～現在

洛陽市龍門文物保管所「洛陽龍門香山寺遺址的調查與試掘」（『考古』一九八六年第一期）

洛陽市市政工程管理處編『洛陽市政建設誌』洛陽市市政工程管理處、一九八四年

洛陽市文物鑽探管理辦公室編『洛陽文物鑽探報告』第一輯、文物出版社、二〇〇八年

洛陽市文物工作隊「一九八一年河南洛陽隋唐東都夾城發掘簡報」（『中原文物』一九八三年第二期）

洛陽市文物工作隊「洛陽含嘉倉一九八八年發掘簡報」（『文物』一九九二年第三期）

洛陽市文物工作隊「河南洛陽市東北郊隋代倉窖遺址的發掘」（『考古』二〇〇七年第一二期）

洛陽市文物工作隊編『洛陽皂角樹·一九九二～一九九三年洛陽皂角樹二里頭文化聚落遺址發掘報告』科學出版社、二〇〇二年）

洛陽市文物管理局「洛陽重大文物項目圖片展」洛陽博物館、二〇〇八年（解説パネル）

洛陽市文物考古研究院「近年來隋唐洛陽城水系考古勘探發掘簡報」（『洛陽考古』二〇一六年第三期）

洛陽市文物考古研究院「洛陽隋代回洛倉遺址二〇一二～二〇一三年考古勘探發掘簡報」（『洛陽考古』二〇一四年第二期）

洛陽市文物考古研究院「洛陽隋代回洛倉遺址二〇一四年度考古發掘簡報」（『洛陽考古』二〇一五年第二期）

- 洛陽市文物考古研究院「洛陽運河一號、二號古沈船發掘簡報」（『洛陽考古』二〇一五年第三期）
- 洛陽市文物考古研究院「洛陽運河古沈船考古發掘的現場保護」（『洛陽考古』二〇一五年第三期）
- 洛陽市文物考古研究院「洛陽運河一號古沈船的加固與整體搬遷」（『洛陽考古』二〇一五年第三期）
- 洛陽市文物考古研究院「洛陽漢唐漕運水系考古調查」（『洛陽考古』二〇一六年第四期）
- 洛陽市文物考古研究院「洛陽隋代回洛倉遺址二〇一五年度考古發掘簡報」（『洛陽考古』二〇一七年第一期）
- 馬得志「唐代長安與洛陽」（『考古』一九八二年第六期）
- 馬依莎「隋唐東都洛陽城水系淺析」（『河洛春秋』二〇一〇年第一期）
- 馬正林「豐鎬——長安——西安」陝西人民出版社、一九七八年
- 孟凡人「北魏洛陽外郭城形制初探」（『中國歷史博物館館刊』一九八二年）
- 蒙曼「唐代前期北衙禁軍制度研究」中央民族大學出版社、二〇〇五年
- 牟發松「旧齊士人与周隋政權」（『文史』二〇〇三年第一輯、同氏『漢唐歷史變遷中的社會與國家』上海人民出版社、二〇一一年收載）
- 牟發松「論隋煬帝的南方文化情結——兼與唐太宗作比」（『文史哲』二〇一八年第四期）
- 潘海民「洛陽市鐵路分局唐代倉窖」（中國考古學會編『中國考古學年鑑二〇〇六』文物出版社、二〇〇七年）
- 潘鏞『隋唐時期的運河和漕運』三秦出版社、一九八七年
- 齊東方「中國都城的立地環境——從長安到洛陽」（奈良女子大學古代學學術研究センター編『東アジア古代都城の立地環境』都城制研究、九、奈良女子大學古代學學術研究センター、二〇一五年）
- 錢國祥「漢魏洛陽故城沿革與形制演變初探」（中國社會科學院考古研究所編著『二一世紀中國考古學與世界考古學』中國社會科學出版社、二〇〇二年）
- 錢國祥「前言」（杜金鵬・錢國祥主編『漢魏洛陽城遺址研究』科學出版社、二〇〇七年）
- 丘菊賢・楊東晨『中華都城要覽』河南大學出版社、一九八九年

- 全漢昇「唐宋帝國與運河」（同氏『中國經濟史研究』上冊、新華研究所、一九九一年）
- 陝西省考古研究所華倉考古隊「漢華倉遺址發掘簡報」（『考古與文物』一九八二年第六期）
- 陝西省考古研究所華倉考古隊「漢華倉遺址一號倉建築復原探討」（『考古與文物』一九八二年第六期）
- 商丘市文物工作隊「河南永城市侯嶺唐代木船」（『考古』二〇〇一年第三期）
- 史為樂「簡論洛陽古代都城址的變遷」（『歷史地理』第九輯、一九九〇年）
- 史念海『中國的運河』陝西人民出版社、一九八八年（同氏『史念海全集』第一卷、二〇一三年に収載）
- 史念海『中國古都和文化』中華書局、一九九八年（同氏『史念海全集』第一卷、二〇一三年に収載）
- 史念海『史念海全集』第一卷、人民出版社、二〇一三年
- 施元龍主編、工程兵工程學院《中國築城史研究》課題組編著『中國築城史』軍事誼文出版社、一九九九年
- 石自社「隋唐東都形制布局特點分析」（『考古』二〇〇九年第一〇期）
- 宿白「隋唐長安城和洛陽城」（『考古』一九七八年第六期）
- 宿白「隋唐城址類型初探（提綱）」（北京大學考古系編『紀念北京大學考古專業三十周年論文集』文物出版社、一九九〇年）
- 譚其驤「中國歷史上的七大首都」（『歷史教學問題』上、一九八二年第一期、中、一九八二年第三期）
- 唐易超「城市水利考古研究綜述」（『中國地名』二〇一九年第六期）
- 湯卓煒編著『環境考古學』科學出版社、二〇〇四年
- 同濟大學城市規畫教研室編『中國城市建設史』中國建築工業出版社、一九八二年
- 王化昆「唐代洛陽的水害」（『河南科學大學學報·社會科學版』二〇〇三年第三期）
- 王建国「略論隋唐長安禁苑的作用」（『三門峽職業技術學院學報』二〇〇九年第一期）
- 王炬「穀水與洛陽諸城址的關係初探」（『考古』二〇一一年第一〇期）
- 王炬·劉海旺「隋代回洛倉與黎陽倉大型糧食倉儲遺址」（中國考古學會編『中國考古學年鑑二〇一五』中國社會科學出版社、二〇一六）

年)

- 王維坤·張小麗「論隋唐洛陽城的設計思想與影響」(『西北大學學報·哲學社會科學版』二〇〇四年第四期)
- 王仲殊「中国古代都城概說」(『考古』一九八二年第五期)
- 王仲殊「關係日本古代都城制度的源流」(『考古』一九八三年第四期)
- 王仲殊「論洛陽在古代中日關係史上的重要地位」(『考古』二〇〇〇年第七期)
- 王守春「漢唐長安城的水文環境」(史念海主編『中國歷史地理論叢(季刊)』陝西師範大學中國歷史地理研究所、一九九九年)
- 魏斌「關於周隋之際的洛陽經營」(『魏晉南北朝隋唐史資料』二〇、二〇〇三年)
- 溫垂斌·劉臨安·王贏「隋唐長安城的“八水五渠”水系在今天城市發展中的意義」(『四川建築科學研究』二〇〇八年第二期)
- 武漢水利電力學院水利水電科學研究院《中國水利史稿》編寫組編『中國水利史稿』下冊、水利電力出版社、一九七九年
- 吳家洲·劉錫濤「隋唐洛陽城的池沼分布、功能及後統演變」(『唐都學刊』二〇一六年第六期)
- 吳慶洲「兩廂建築避水害之調查研究」(『華南工學院學報』一九八三年第二期)
- 吳慶洲「試論我國古城抗洪防澇的經驗和成就」(『城市規劃』一九八四年第三期)
- 吳慶洲「中国古代城市防洪初探」(『城市規劃匯刊』一九八五年第三期)
- 吳慶洲「歷史上梧州城的水災及防洪措置」(『珠江志通訊』一九八八年第一期)
- 吳慶洲「唐長安在城市防洪上的失誤」(『自然科學史研究』一九九〇年第三期)
- 吳慶洲「中国古代城市的選址與防禦洪災」(『自然科學史研究』一九九一年第二期)
- 吳慶洲「中国古代的城市水系」(『華中建築』一九九一年第二期)
- 吳慶洲「我國防禦洪澇災害的綜合體系及減災對策」(『災害學』一九九二年第四期)
- 吳慶洲「我國城市防洪綜合體系及減災對策」(『城市規劃匯刊』一九九三年第二期)
- 吳慶洲「中國古城防洪的技術措施」(『古建園林技術』一九九三年第二期)

- 吳慶洲『中国古代城市防洪研究』中国建筑工業出版社、一九九五年
- 吳慶洲『漢魏洛陽城市防洪的歷史經驗幾措施』（『中國名城』二〇一二年第一期）
- 吳濤『盛唐時期的東都洛陽』（『鄭州大學學報·哲學社會科學版』一九九二年第六期）
- 武廷海『六朝建康規畫』清華大學出版社、二〇一一年
- 謝虎軍·張敏·肖苓『隋唐洛陽回洛倉及其糧窖布局』（『河洛春秋』二〇〇五年第一期）
- 謝虎軍·張敏·趙振華『隋唐洛陽回洛倉的考古勘察』（『中原文物』二〇〇五年第四期）
- 辛德勇『隋唐兩京叢考』三秦出版社、初版、一九九一年、第二版、二〇〇六年
- 徐海亮『隋唐大運河、洛汭與洛口倉研究中需解讀的幾個問題』（『華北水利水電學院學報·社會科學版』二〇一二年第五期）
- 許宏『先秦城市考古學研究』北京燕山出版社、二〇〇〇年
- 徐萃芳『唐代兩京的政治、經濟和文化生活』（『考古』一九八二年第六期）
- 徐松撰、李健超增訂『唐兩京城坊考』三秦出版社、初版、一九九六年、修訂版『增訂唐兩京城坊考』、二〇〇六年
- 徐衛民『秦都城研究』陝西人民教育出版社、二〇〇〇年
- 徐昭峰『成周與王城考略』（『考古』二〇〇七年第一期）
- 徐昭峰『試論東周王城的城市用水系統』（『中原文物』二〇一四年第一期）
- 薛瑞澤·許智銀『河洛文化研究』民族出版社、二〇〇七年
- 閻崇年他『中國歷史名都』浙江人民出版社、一九八六年
- 閻崇年主編『中國歷代都城宮苑』紫禁城出版社、一九八七年
- 嚴耕望撰『唐代交通圖考』第一卷·第五卷、初版、中央研究院歷史語言研究所出版、一九八五年·二〇〇三年、再版、上海古籍出版社、一九八四年·二〇〇七年
- 嚴輝『洛陽西郊龍池溝唐代西苑宮殿遺址調查』（『文物』二〇〇〇年第一〇期）

嚴輝「隋唐東都西苑遺址全釈」（『洛陽考古』二〇一六年第二期）

偃師市文物管理局「漢魏洛陽城東陽渠、鴻池陂考古勘察簡報」（『華夏考古』二〇一一年第一期）

偃師縣志編纂委員會編『偃師縣志』生活・讀書・新知三聯書店、一九九二年

閻文儒「洛陽漢魏隋唐城址勘查記（節錄）」（『考古學報』一九五五年第九冊）

閻文儒「隋唐東都城的建築及其形制」（『北京大學學報·人文科學』一九五六年第四期）

楊鴻年『隋唐兩京考』武漢大學出版社、初版、二〇〇〇年、第二版、二〇〇五年

楊鴻年『隋唐兩京坊里譜』上海古籍出版社、一九九九年

楊寬『中国古代都城制度史研究』初版、上海古籍出版社、一九九三年、再版、上海人民出版社、二〇〇三年

楊寬「中国古代都城的起源和發展」（同氏『中国古代都城制度史研究』初版、上海古籍出版社、一九九三年、再版、上海人民出版社、

二〇〇三年に収載）

楊清越「唐《倉庫令》与隋唐倉窖的糧食保存方法」（『中国国家博物館館刊』二〇一三年第一二期）

姚漢源「北京旧皇城区最早出現的宮殿園地——城市与水利」（『中国科学院水利電力部水利水電科學研究院科學研究論文集』第一二集水

利史、水利電力出版社、一九八二年）

姚漢源『中国水利史綱要』水利電力出版社、一九八七年

姚漢源『中国水利發展史』上海人民出版社、二〇〇五年

葉驍軍編『中国都城歷史図録』蘭州大學出版社、一九八六年

葉驍軍『中国都城發展史』陝西人民出版社、一九八八年

葉万松・李德方「三代都洛水系考辨」（河南省文物考古學會編『河南文物考古論集』河南人民出版社、一九九六年）

葉万松・趙春青「洛陽西工隋唐糧倉」（中国考古學會編『中国考古學年鑑一九九三』文物出版社、一九九五年）

葉万松・張劍・李德方「西周洛邑城址考」（『華夏考古』一九九一年第二期）

- 宇都宮美生「隋唐洛陽城時期西苑的四至和水系」（洛陽博物館編『洛陽博物館建館五〇周年論文集』大象出版社、二〇〇八年）
- 余扶危・賀官保『隋唐東都含嘉倉』文物出版社、一九八二年
- 余扶危・葉万松「我国古代地下儲糧之研究（上）（中）（下）」（『農業考古』、上、一九八二年第二期、中、一九八三年第一期、下、一九八三年第二期）
- 余扶危・葉万松「洛陽發現唐代窖穴建築遺址」（『考古』一九八三年第六期）
- 余黎星・余扶危「武則天与神都二三事」（『四川文物』二〇一〇年第一期）
- 俞凉亘「隋唐東都天津橋的初步探討」（『中国古都研究…文明起源与城市发展研究』第一九輯、四川大学出版社、二〇〇四年）
- 張德臣「秦咸陽都城“法天”反思」（『咸陽師範學院學報』二〇〇三年第一期）
- 張弓『唐朝倉廩制度初探』中華書局、一九八六年
- 張驊「論水与六大古都」（『文博』一九九七年第二期）
- 張輝・宮希成「隋唐大運河通濟渠（汴河）唐宋沈船与沿岸古文化遺存」（『中国歷史文物』二〇一〇年第六期）
- 張建鋒『漢長安城地区城市水利設施和水利系統的考古学研究』科学出版社、二〇一六年
- 張建鋒「論城市水利与城市文明——以西漢都城長安為例」（宋建・陳傑主編、上海博物館編『“城市与文明”學術研討會論文集』上海古籍出版社、二〇一六年）
- 張乃翥・張成渝『洛陽与絲綢之路』国家圖書館出版社、二〇〇九年
- 張馭寰『中国城池史』初版、百花文芸出版社、二〇〇三年、再版、中国友誼出版公司、二〇〇九年
- 趙宝俊「開封与黃、汴」（『中国古都研究』第二輯、浙江人民出版社、一九八六年）
- 趙超「唐代洛陽城坊補考」（『考古』一九八七年第九期）
- 趙振華「唐東都天津橋研究」（『唐研究』第一二卷、二〇〇六年）
- 鄭連第「歷史上永定河的洪水和北京城的防洪」（『北京水利志通訊』一九八二年第三期）

- 鄭連第「城市水利的歷史借鑑」（『水利研究』一九八二年第一期）
- 鄭連第「一八九〇年北京大水」（『北京水利志通訊』一九八五年第一期）
- 鄭連第『古代城市水利』水利電力出版社、一九八五年
- 趙天改「洛陽古都的城址轉移及原因探索」（中國古都學會・新鄭古都學會編『中國古都研究』一五、三秦出版社、二〇〇四年）
- 趙曉軍「古代倉窖儲糧計量問題研究——以洛陽戰國與隋唐官倉為例」（『考古學研究』二〇一六年第八期）
- 鄭肇經『中國水利史』中國文化史叢書第二輯、商務印書館、一九三九年
- 鄭肇經『中國之水利』文史叢書編輯部、一九三九年
- 中國古都學會編『中國古都研究』浙江人民出版社、一九八五年
- 中國社會科學院考古研究所編著『洛陽發掘報告……一九五五—一九六〇年洛陽澗浜考古發掘資料』北京燕山出版社、一九八九年
- 中國社會科學院考古研究所編著『隋唐洛陽城一九五九—二〇〇一年考古發掘報告』第一冊—第四冊、文物出版社、二〇一四年
- 中國社會科學院考古研究所二里頭工作隊「河南洛陽盆地二〇〇一—二〇〇三年考古調查簡報」（『考古』二〇〇五年第五期）
- 中國社會科學院考古研究所河南第二工作隊「河南偃師商城之區一九九六年發掘簡報」（『考古』一九九九年第二期）
- 中國社會科學院考古研究所洛陽發掘隊「隋唐東都城址的勘查和發掘」（『考古』一九六一年第三期）
- 中國社會科學院考古研究所洛陽漢魏故城隊「河南洛陽市漢魏故城發現北魏宮城太極東堂遺址」（『考古』二〇一五年第一〇期）
- 中國社會科學院考古研究所洛陽漢魏城工作隊「北魏洛陽外廓城和水道的勘查」（『考古』一九九三年第七期）
- 中國社會科學院考古研究所洛陽漢魏城隊「漢魏洛陽故城城垣試掘」（『考古學報』一九九八年第三期）
- 中國社會科學院考古研究所洛陽唐城隊「洛陽隋唐東都城一九八二—一九八六年考古工作紀要」（『考古』一九八九年第三期）
- 中國社會科學院考古研究所洛陽唐城隊「一九八七年隋唐東都城發掘簡報」（『考古』一九八九年第五期）
- 中國社會科學院考古研究所洛陽唐城隊「洛陽唐東都上陽宮園林遺址發掘簡報」（『考古』一九九八年第二期）
- 中國社會科學院考古研究所洛陽唐城隊「北宋西京洛陽監護城壕的發掘」（『考古』二〇〇四年第一期）

中国社会科学院考古研究所洛陽唐城隊「河南洛陽隋唐東都皇城遺址出土的紅陶器」(『考古』二〇〇五年第一〇期)

中国社会科学院考古研究所洛陽唐城隊・洛陽市文物工作隊「隋唐洛陽城永通門遺址發掘簡報」(『考古』一九九七年第二二期)

中国社会科学院考古研究所洛陽唐城隊・洛陽市文物工作隊「定鼎門遺址發掘報告」(『考古學報』二〇〇四年第一期)

中国唐史学会唐宋運河考察隊編『唐宋運河考察記』中国図書進出口總公司・陝西省社会科学院、一九八五年

中国唐史学会唐宋運河考察隊編『運河訪古』上海人民出版社、一九八六年

周宝珠『《清明上河圖》与清明上河學』河南大学出版社、一九九七年

周道濟『漢唐宰相制度』初版、嘉新水泥公司文化基金会出版、一九六四年、第二版、大化書局、一九七八年

周劍曙・陳華州「漢魏洛陽城東陽渠、鴻池陂考古勘察簡報」(『河洛春秋』二〇〇八年第三期、偃師市文物管理局著として『華夏考古』

二〇一一年第一期に収載)

周景巧「千年天津橋、今朝被發掘」(『河洛春秋』二〇〇一年第二期)

周昆叔主編『環境考古研究』科学出版社、一九九一年

周維權『中国古典園林史』清華大学出版社、初版、一九九〇年、第二版、一九九九年

周勳「論千金竭与魏晉時期洛陽城水利關係」(『安陽師範學院學報』二〇一五年第一期)

鄒逸麟「從含嘉倉的發掘談隋唐時期的漕運和糧倉」(『文物』一九七四年第二期)

鄒逸麟「黃河下游河道變遷及其影響概述」(『復旦學報・社会科学版』一九八〇年增刊号)

朱超「簡述唐長安城供水与排水系統」(『才智』三三期、二〇〇九年)

朱更翎「從一九八四年暴雨回顧北京歷史上的澇災」(『北京水利志通訊』一九八五年第一期)

朱士光・葉驍軍「試論我国歷史上陪都制的形成与作用」(『中国古都研究』第三輯、一九八七年)

『洛陽日報』二〇〇〇年八月五日付・劉建新・余扶危「洛陽隋唐東都城考古發現天津橋遺址」

『洛陽日報』二〇〇四年八月二五日付…（洛陽市文物工作隊）「洛陽新区發現古代大型水利設施遺址」
『洛陽晚報』二〇一三年一月二五日付…李燕鋒「回洛倉…倉窖超七〇〇座、儲糧三・五五億斤」
『中國文物報』一九九一年二月八日付…朱亮「公私倉廩俱豐美」
『中國文物報』一九九九年四月一日付…霍宏偉「洛陽發現洛水石堤遺存」
『中國文物報』二〇一四年一月一七日付…渭橋考古隊「陝西渭橋遺址新發現…已發現三組七座渭橋、多座渭橋時代已基本確定」

【英語文獻】

- Chang, Sen-dou, Some Aspects of the Urban Geography of the Chinese Hsien Capital, *Annals of the Association of American Geographers*, vol. 51, no. 1, 1961
- Chang, Sen-dou, The Historical Trend of Chinese Urbanization, *Annals of the Association of American Geographers*, vol. 53, no. 2, 1963
- Schafer, Edward Hetsel, Hunting Parks and Animal Enclosures in Ancient China, *Journal of the Economic and Social History of the Orient*, vol. 11, no. 3, 1968
- Skinner, George William, Regional Urbanization in Nineteenth-Century China, *The city in late imperial China*, Stanford University Press, 1977
- Steinhardt, Nancy Shatzman, *Chinese imperial city planning*, University of Hawaii Press, 1990
- Twitchett, Denis Crispin, *Financial administration under the T'ang dynasty*, 2nd ed. Cambridge University Press, 1970
- Wittfogel, Karl August, *Oriental despotism: a comparative study of total power*, Yale University Press, 1957

論文の内容の要旨

論文題目 隋唐洛陽城水利研究

氏名 宇都宮美生

中国のほぼ中央に位置する洛陽盆地には前後して五か所に都城が置かれた（図1）。このうち隋唐洛陽城は、隋煬帝が自然河川を取り入れた形で盆地の西端の狭小の地に置いた都城であった。本論はこの隋唐洛陽城の立地と構造について水利という視点から検証し、洛陽城の有する歴史的意義の一面を見出すことに主眼を置くものである。

序章「隋唐洛陽城の都城史研究の動向と諸問題」では、隋唐洛陽城の立地選定にかかわる問題点を提起して、中国都城研究における都市水利史研究の動向を整理した。はじめに都城研究を行う意義を確認し、次いで歴代王朝の洛陽奠都の意図を概観することにより、洛陽は東方に近く、水の存在が洛陽城の設置と運営に大きくかかわっていることが想定された。ここに、洛陽城の水環境を考究する方向性を導き出した。都城における水利史研究は多分野で行われ、それぞれ特有の視点から進められているため、専門性が強くなっている。そこで本論では、文献史料の分析のみならず考古学の成果、歴史地理学的な視点、水利工学および土木・建築学の情報を併用した総合的な分析を行うこととした。研究の足掛かりとして水路の復元を試み、そこから隋唐の水利用の実態と水に対する概念を明らかにして、煬帝が目指した都城理念と唐代に継承された都城運営の一面を解明することを目的とした。

第一部「隋唐洛陽城をとりまく水環境」では、隋唐洛陽城の水系の考察として自然河川の洛水と穀水および人工水路の運河をとりあげ、これらの特徴と関係を明確にした。

第一章「隋唐洛陽城における河川、運河と水環境―問題の所在―」では、洛陽城と水利との関係を考究する前提として、城内外の水路と施設について初歩的な考察を行った。ここでは、史料の記載を主に活用し、考古学的成果と筆者の現地踏査を補充して簡単な復元を試み、水利方面から各水利施設の所在・機能・役割について整理した。これにより、隋唐洛陽城水系の全体像が浮かび上がり、洛陽の存在条件として穀水・洛水・運河・皇室庭園・穀倉にかかわる研究が不可欠であるとの認識に至った。

第二章「隋唐洛陽城“洛水貫都”考」では、城内の中央を東西に流れる洛水（図2）について考察し、天文思想・防衛面・防災面・経済面・都市水利における利便性が洛陽城の都城運営を多方面から支えていたことを明らかにした。特に、この「洛水貫都」構造には、穀水・

瀘水を合わせて引水・合流・分流を組み合わせた総合的な水系管理体制を人工的に創出することで、洛陽全体の水系を統制し城内への多量の水の供給を可能にするとともに、災害を最小限にとどめるねらいがあったことが理解された。そして、煬帝が洛水上流の地域を選定したことによって、これらの利便性につながったことを導き出した。日本や宋の都城に河川や運河を内包する都城が出現したことに対して、洛陽城の存在が少なからず影響している可能性も見出された。

第三章「隋唐洛陽城の穀水」では、隋唐以前と隋唐期の穀水河道についてそれぞれ復元を試み、その変遷過程と利用状況から隋唐洛陽城の立地選定理由について考察した（図1）。ここでは、穀水が洛水の北岸に位置した都城の運営には不可欠であり、洛陽で最大の河川である洛水よりも重要な水源であったことが確認されるとともに、宮殿区における防衛・供水・景観だけでなく、城内に設置された運河に流れ込んで排水と運搬の便に供されたことが理解された。さらに、洛水上流だけでなく、穀水の上流地域で洛水と瀘水が近接する一帯に都城を置いて都城の水利を調節・管理したことが、洛陽城内に設置された運河の運営にもつながったことを導き出した。

第四章「隋唐洛陽城の運河一通済渠を中心として」では、洛陽城内を流れる各河川の支流を水源とした運河について流路の復元と構造・機能を明らかにし、洛陽城内に設置された運河（図2）の歴史的意義を考えた。その結果、煬帝は洛陽城建設時に城外に運河を設け、自ら運河を使用し江南各地を見聞した後、洛陽城を城内に延長させたことが判明した。この段階的な運河の開鑿には、北方都城の運河形態を継承し、さらに南方運河の形態を導入したことが明らかになった。また、洛陽の運河は、後に登場する揚州城や開封城のような運河都市の様相にも大きく影響していることが理解された。

次に、第二部「隋唐洛陽城の施設と水利」では、水にかかわる都城施設として皇室庭園と穀倉をとりあげた。

第一章「隋唐洛陽城の西苑の四至と水系」では洛陽の皇室庭園と都城とのかかわりを考察する前提として、西苑（図2）の構造や水系と離宮の配置について整理した。洛陽城の西側に設置された広大な西苑には、内包する洛水・穀水からの引水により渠・池が造られ、臨水する離宮あるいは山上の離宮が多く建造されたことが明らかになり、さらに隋と唐では規模・範囲・内部構造に大きな違いがみられた。両代における西苑の役割を考えるうえで、苑内の自然環境、特に水とのかかわりを考察する必要性がここに提起された。

この第一章の問題提起を踏まえ、第二章「隋唐洛陽城の西苑の役割と水利」では西苑が宮

城の西側に設置された理由および隋唐両代の構造と利用方法の違いを比較した。そして、西苑の特徴を見出し、洛陽城に対する西苑の水利の役割について考察した。その結果、西面における防衛目的に加え、洛水と穀水が形成する西側の地形の利用に主眼を置き、娯楽を兼ねた日常的な水管理によって洛陽城への供水を調節したことが理解された。また、西苑の構造は秦・前漢以来の北方の伝統を継承し、遊牧系の北斉鄴や南朝建康の要素も取り入れていることから、南北両文化を総合した皇室庭園であったことが導き出された。

第三章・第四章では、洛陽地域の隋唐の四大穀倉（図1）を検証した。まず、第三章「隋唐洛陽城の含嘉倉一設置と役割に関する一考察」では未解明の部分が多い含嘉倉の機能と役割について考察した。それにより、含嘉倉は隋の倉ではなく唐初の洛陽への東巡と執政により、徐々に窖が増設されていったことが明らかになった。また、長安の出費を補填するための経済的関与から、長安での執政を維持するための副都運営という政治的関与への変化を見出し、東巡の実施過程で官倉から転般倉へと転じる同倉の役割を導き出した。さらに転般倉としての役割を他倉と比較し、首都機能を持つ洛陽に置かれて後方に陸路を有したことが、内陸にありながら同倉が発展する条件であったことが理解された。そこには両都経営に関わる為政者の政治的な思惑が大きく影響し、政治的関与をする含嘉倉の役割が重要であったことが明らかになった。

この第三章の考察を踏まえ、第四章「隋唐洛陽城の穀倉—子羅倉、洛口倉、回洛倉および含嘉倉をめぐって—」では、隋三倉を併せてそれぞれの位置・構造・役割について明らかにし、四倉の相互関係と隋から唐への穀倉の変遷過程について考察した。その結果、子羅倉は宮廷内飲食用の穀物倉、洛口倉は洛陽・長安への転般倉および北方への軍倉、回洛倉は洛陽城の太倉として、各倉が役割を分担し隋後半の洛陽城を支えたことが理解された。唐高宗期からは城内に含嘉倉が設置され、倉庫令の規定を踏まえた業務の改善により含嘉倉一倉がこの三倉の役割を集中したことも明確になった。ここに、隋三倉から含嘉倉一倉への移行は単なる構造や設置場所の変化だけでなく、隋から唐に至る過程において行政実務の変化もあらわれていることを導き出した。

終章では本論の研究成果を総括した。隋の煬帝が洛陽城を建設した目的の一つは、各地からの距離が等しい洛陽に穀物を集積することであった。そのため煬帝は水利に着目し、洛水・穀水・瀍水の近接する場所に新都を建設して洛水を城内中央に取り込み、城内から運河を開鑿した。洛陽城西側の洛水と穀水の上流に西苑を設置し、苑内の洛陽城に近い場所に建造した離宮や水利施設で日常的に水管理をすることにより、洛陽城への供水を調節した。洛

水下流の洛陽城内でも引水・合流・分流を組み合わせ、水利系統を構築し、その排水先を城内の運河にすることで、供水・排水・貯水・景観・運搬・防衛といった都市水利の機能を完備した（図2）。このような洛陽城と西苑を併せた総合的な水利系統と管理体制が洛陽城の運営を根底から支えたのであり、それを可能にしたものこそまさに河川近接地での奠都であった。ただし、水利構造が際立っているとはいえ、洛陽城は南朝建康城の完全な再現を目標としたものではなく、北方と南方の都城あるいは景観における特性を融合したものといえる。加えて、同時代の地方都市・運河都市、後代の中国の都城および日本の宮都への時間的・空間的影響も想定される。以上の考察から、洛陽城は北方都城の発展過程における一つの到達点であることはいうまでもなく、南方の特徴も兼ね備えた進化型かつ集大成の都城であり、これ以降の都城形態の出発点でもあるとの結論に至った。



図1 洛陽盆地と都城概念図
(現在の河道)

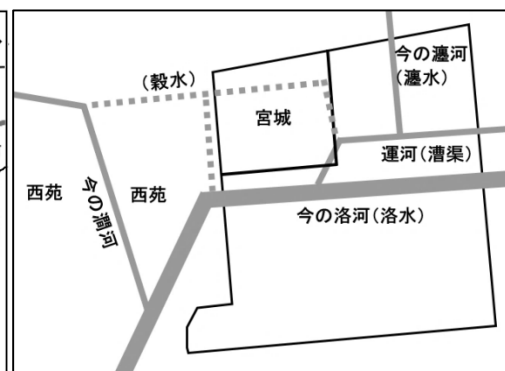


図2 隋唐洛陽城概念図
(本論の考察に基づく)